

# 膵癌 すいがん

## Q 膵臓とは

膵臓は胃の背中側に位置する臓器で、膵管という管で腸管とつながっています。この膵管から消化酵素を腸管内に分泌することで、栄養の吸収に重要な役割を担っています。さらに、血糖をコントロールするインスリンなど、複数のホルモンの分泌も膵臓が行っています。この膵臓に発生する癌が膵癌です。

## Q 膵癌は増えているのか？

国内の癌患者さんのうち、4番目に死亡者が多いのが膵癌です。(1位肺癌、2位大腸癌、3位胃癌、4位膵癌、5位肝臓癌です。)さらに、肺癌、大腸癌、

胃癌、肝臓癌による死亡が近年減少傾向にある一方、膵癌による死亡は増加の一途を辿っています。(出典：国立研究開発法人国立がん研究センター がん情報サービス)

なぜ膵癌による死亡者が減らないのか、その原因として、①膵癌と診断される方の多くが、すでに進行してしまっていること、②そういった進行した膵臓癌に対する治療が非常に難しいこと、が挙げられます。

## Q 膵癌にどう対処する？

治療が難しいとは言っても、膵癌に対する治療法は確実に進歩してきています。近年では強力な化学療法が行われるようになり、2000年代以前と比較すると、生存期間は大きく伸びてきています。また遺伝子

検査の結果によっては、分子標的治療薬など、全く新しい治療薬の効果も期待できます。しかし、こういった治療を行っても、癌が完全に治る人は決して多いとは言えず、得られる生存期間も、まだまだ満足できるものにはなっていないのが現状です。

今後、さらなる治療の進化や、革新的な治療法の出現に大いに期待したいところですが、重要なのは治療法だけではありません。癌は全般的に、早期発見・早期治療が大切だと言われますが、膵癌においても早期発見はとても重要です。少しでも早い段階で膵癌を発見することは、癌の治癒や生存期間の延長に大いに影響します。

## Q 膵癌の早期発見のためには？

膵癌の早期発見の手段として、人間ドックや健診などで、癌のサインを見つけることが挙げられます。アミラーゼなど膵酵素の上昇や、糖尿病の数値の増悪、超音波検査で膵癌のサイン(膵

管の拡張など)などを指摘されたら、お近くの医療機関を受診することが必要です。こういった異常が見つかった場合、全員が膵癌になっているわけではなく、ませんが、早期発見のために放置しないことが重要です。

また、どのような人が膵癌になりやすいか、徐々に分かってくるので、それに当てはまる方は、定期的な検査の必要性がより高いわけです。例えば、血の繋がった家族に膵臓癌になった人がいる場合はリスクが高くなり、その人数が多いほど膵癌のリスクが高まるとされています。その他、喫煙者や糖尿病をお持ちの方、またはアルコールなどを原因とする慢性膵炎、膵嚢胞(膵内の液体貯留)をお持ちの方も膵癌のリスクが高いことが分かっています。

このような方は、一度お近くの医師に相談し、必要に応じて専門機関へ紹介してもらうことをお勧め致します。

以上膵癌の概要と、その対応について基本的なことを解説いたしました。膵癌の治療は確実に進歩していますが、まだまだ

過度な飲酒

糖尿病

喫煙

血縁

肥満



治療が難しい癌であり、早期発見が重要な点について、少しでもお伝えできていれば幸いです。

### 今月の先生 岐阜市民病院 消化器内科 岩田 圭介

- 専門分野 膵・胆道疾患の診断と各種治療
- 役職 消化器病センター長 胆膵内科部長 地域連携部長
- 主な資格、認定 日本内科学会総合内科専門医・認定医 日本消化器病学会指導医・専門医

- 日本消化器内視鏡学会指導医・専門医
- 日本膵臓学会認定指導医
- 日本胆道学会認定指導医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 卒業年、主な職歴 平成8年卒 岐阜大学医学部附属病院第一内科 岐阜県総合医療センター消化器内科

